

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東成区
学 校 名	東小橋小学校
学校長名	松本 学

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東小橋小学校では、第6学年 13名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

**国語・算数・理科の平均正答率は全国・市の平均正答率ともに上回っている。**教科別にみると、国語は全国平均を13.2ポイント、市平均を15ポイント、算数は全国平均・市平均ともに24ポイント、理科は全国平均を22.9ポイント、市平均を25ポイント上回っている。

**平均無回答率について、**国語は全国平均を1.1ポイント、市平均に対しては0.6ポイント、算数は全国平均より1.2ポイント、市平均より0.9ポイント、理科は全国平均を1.4ポイント、市平均に対しては1.6ポイント下回っている。本校児童はどの教科についても粘り強く問題に取り組んだ様子が見える。

学習指導要領の内容・領域に関して、国語の「情報の扱い方に関する事項」においての平均正答率が全国平均・市平均ともに下回っているが、その他のすべての内容・領域において平均正答率が全国平均・市平均ともに上回っている。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 【国語】

「思考力、判断力、表現力等」に関する「話すこと・聞くこと」「書くこと」「書くこと」は全国・市の平均正答率を上回っており、学習の効果がみられる。ただ、「知識及び技能」に関する「情報の扱い方に関する事項」は全国・市の平均正答率を下回っており、基礎・基本の学力を確実に習得できるよう、ICT機器を効果的に活用しながら学習を進めていく必要がある。

### 【算数】

全ての領域において、全国・市の平均正答率を上回っており、学習の効果がみられる。特に昨年度課題の見られた「データの活用」については、全国平均を17.5ポイント上回っており、**学力向上支援チーム事業を活用した研究授業や授業研修会**を活発に実施してきた成果が出ていると考えられる。

### 【理科】

全ての領域において、全国・市の平均正答率を上回っており、学習の効果がみられる。特に「エネルギー」を柱とする領域については、全国平均を37.9ポイントも上回る結果が見られた。

質問調査より

### 【児童質問紙より】

児童質問紙については、**大阪市教育委員会事務局が重視する7項目**において、**すべての項目で肯定的に回答する児童が100%**であった。

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに対して、**100%の児童が肯定的な回答**をしており、全国・市の平均よりも高い結果となっている。これは学校における各種取組が結果に結びついていると捉えている。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに対して**肯定的に回答する児童が100%**であった。市教育委員会事務局第2教育ブロックグループが進める「キャリア教育」を、本校でも教育活動の柱の一つとして捉え、普段より「キャリア教育」を意識した授業展開に取り組んできた結果が現れてきていると捉えている。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに対して**肯定的に回答する児童は100%**であり、安定した学級集団であることが、本校児童の学力状況にも好影響を与えていると捉えている。

#### 【学校質問紙より】

全教員が積極的に授業を公開するとともに、計画的に校内研修を開催してきていることから、研修に関する項目はどの項目も**最も肯定的な回答**をしている。また、近隣校との合同研修会や他校で実施される研修会への参加など教員の専門性の向上を企図していることが結果に好影響を与えている。「一人一授業」等の公開授業を計画的に実施することにより**「学力向上支援チーム事業」を非常に有効的に活用**することができおり、校内研修の活性化につながっている。今後も継続して取り組んでいく。

ICTに関する項目については、一人一台端末を利用した発表・表現での利用の質問や教員とのやりとりの場面での利用の質問に関して「月一回程度の利用」の回答となっている。大阪市教育振興基本計画における「教育DXの推進」の達成に向けて、積極的な活用の取組を進めていく。

### 今後の取組(アクションプラン)

- ・国語、算数の授業において基礎・基本の定着を図るとともに、どの教科でも一人一台端末を効果的に活用した話し合い活動を通し、表現力向上につながる授業展開を行う。
- ・教員研修の充実が本校の強みであり、児童の学習面に好影響を与えているので、今後も引き続き推進していく。
- ・読書の習慣化につながる取組を、今後も継続して取り組む。
- ・「キャリア教育」の視点も取り入れ教育活動を展開していく。

## 児童質問より

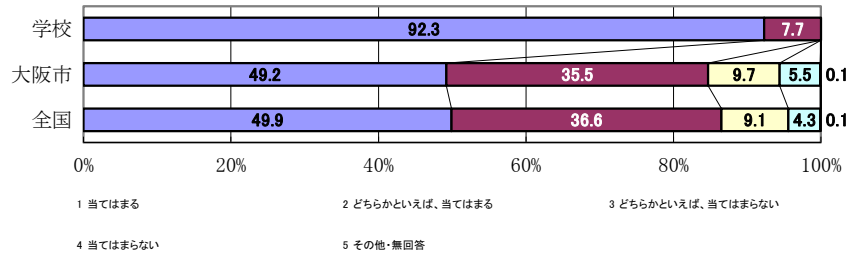
質問番号

質問事項

12

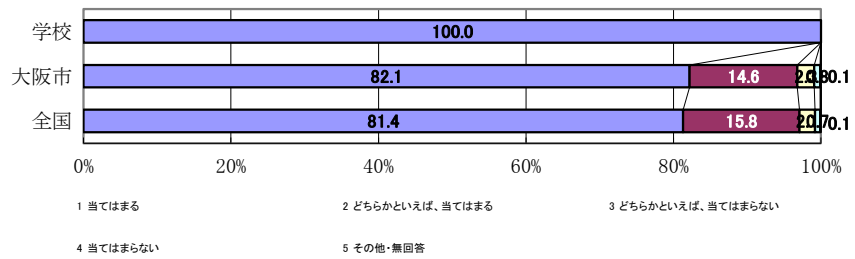
学校に行くのは楽しいと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



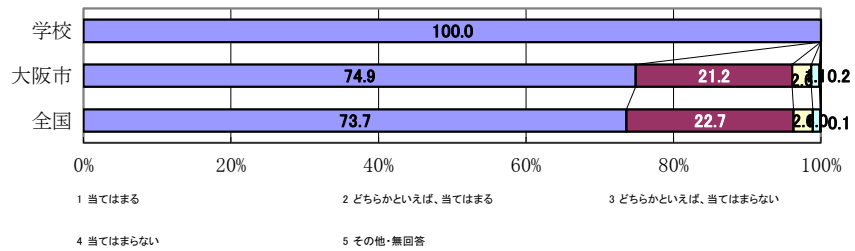
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



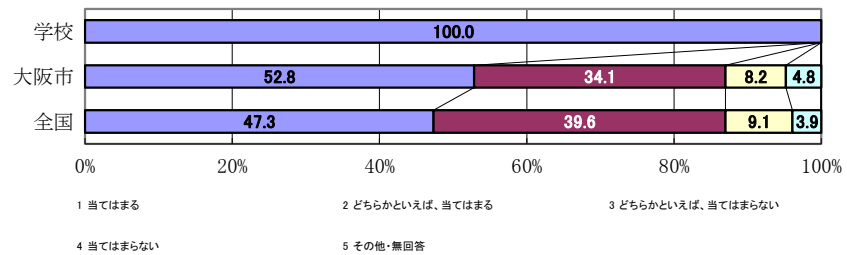
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



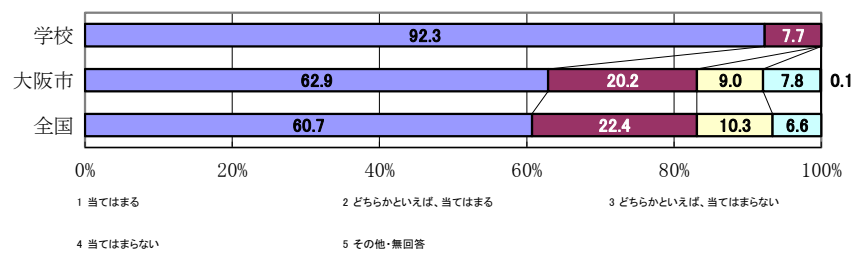
5

自分には、よいところがあると思いますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



## 学校質問より

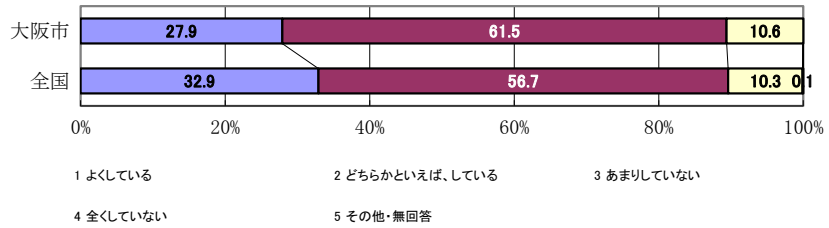
質問番号

質問事項

19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

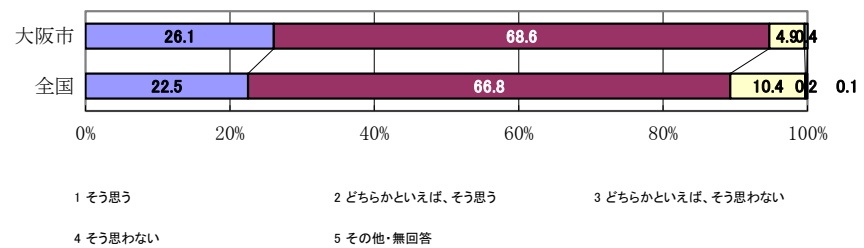
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

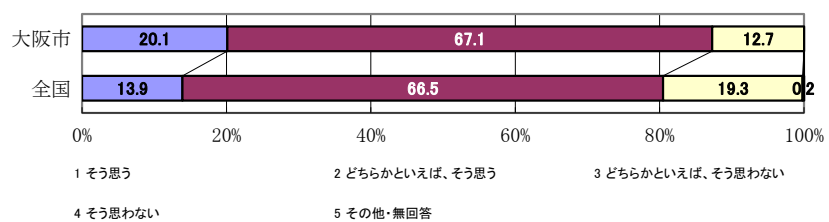
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

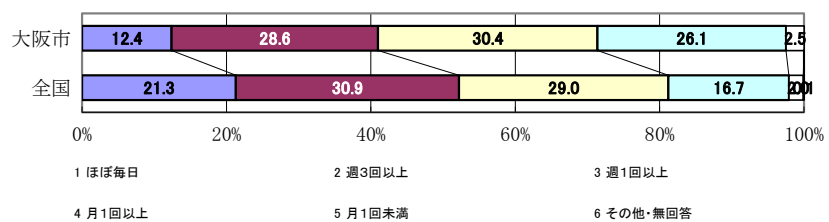
学校 「そう思う」を選択



60

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「月1回以上」を選択



61

教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「月1回未満」を選択

